

令和5年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

令和5年5月15日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



ホタテガイの小型のラーバが多く出現しています。
ホタテガイ稚貝の付着はまだ少ない状態ですが、
採苗器の1/3程度の数の分散投入を始めてください。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は10.2℃で、透明度は9.0mでした。水温は例年より高めとなっています。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが286個/m³（昨年同時期：23個/m³）、200μm以上の大型のラーバが3個/m³（同：16個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイ、キヌマトイガイのラーバ出現数は、昨年同時期よりも少なめとなっています。
- 唐丹湾では、ホタテガイの付着稚貝は2個/袋とまだ少ない状態です。
- 小型のホタテガイラーバは出現し始めているので、採苗器の分散投入を進めてください。

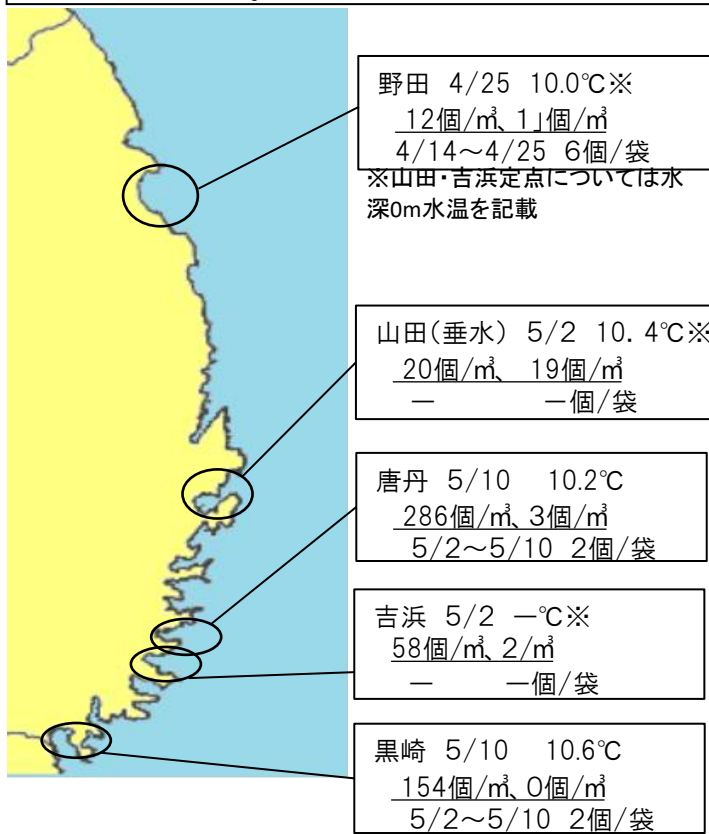


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月18日頃に
発行する予定です。

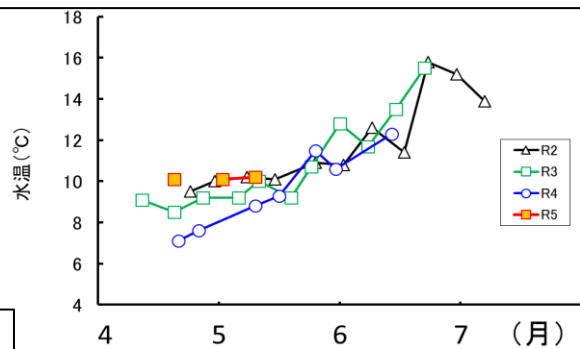


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

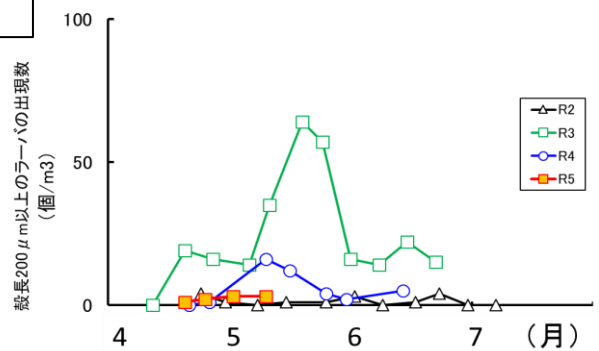


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

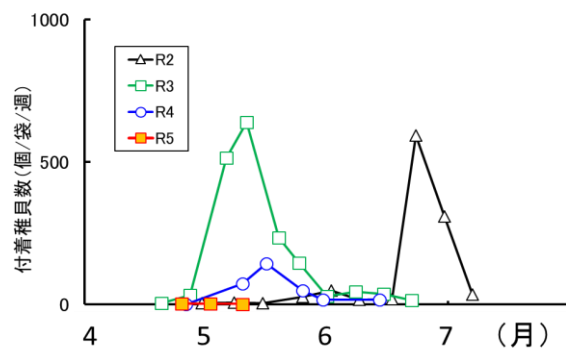


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数